

荒川地区 意見交換概要

日時 令和4年6月7日(火)18:59~20:02

場所 荒川公民館

出席 39名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	保育所と公民館の解体・建設のスケジュールはどのようになっているのか。	保育所は、今年、解体工事の実施設計を契約している。今年の8月から、解体工事を着工する予定である。公民館については、令和5年度に実施設計し、6年度以降に整備予定である。
2	芹川東の交差点に、「夢とロマンがクロスするまち小矢部」の看板があるが、方向によっては木の陰になって見えない。	市商工会により設置された看板である。木の伐採については、機会をとらえて国に伝えたい。
3	今年、市から、主食用米に対する2,000円の助成や子育て世代に対してお米券の配布があった。様々な形で支援いただいたことをありがたく思っている。個人農家を含めた担い手農家は、営農を継続するために、生産コストがかさんでも進めなければならない。市として、更なる対策があれば教えてほしい。	やがて6月市議会定例会が始まる。個々については差し控えるが、燃油、肥料に対する助成、飲食、プレミアム商品券などを考えている。国からの情報がまだ掴みきれないので、調べているところである。しっかりと支援をしたい。
4	学校の再編について、どうなっていくか教えてほしい。	結論から言うと、学校は何かの判断基準をもって統廃合せざるをえないと思っている。ただ、公共施設を壊すといっても、壊すにもお金がかかる。交付税措置のない市債や自主財源でしなければならないので、市長会でも、この議論をしている。やはり人口規模に対しての学校の在り方があるのだろうと思う。
5	学校の統廃合も大事だが、それより急務なのは中学校の部活動ではないか。今、部活動は減少しており、なくなったものもある。今は、地域で育てる、もしくは地域へ移行すべきだというふうになっている。教員の働き方改革も含め、市ではどのように考えているのか。	部活動を地域に移行するという報道がされているが、市としてできることは、しっかりと県に繋いで要望する。部活動の在り方について、先生方は大変つらい思いをしているので、そういったところもしっかりと見て考えたい。市で地域に移行する形をしっかりと整え、県教委で議論してもらおうという形をとることを考えている。